

## 管理センターからのお知らせ

### 《異動》

2月16日 佐藤 健人 旧) 西日本センター  
新) 西日本センター キオクシア四日市工場

2月18日 大西 治輝 旧) 西日本センター  
新) 西日本センター シオノギファーマ

### 《家族情報変更に伴う提出書類について》

◆ 毎年4月は、従業員皆さまのご家族にも、卒業や就職など変化がある時期かと存じます。それに伴い扶養状況に変更がある方は、変更に伴う必要書類の提出をお願いいたします。書類の提出につきましては、それぞれの状況によって提出書類が異なりますので、下記管理センター人事総務課までお問合せ下さい。

また、mhrの家族手当のお子様の支給基準は、18歳の3月（4月給与支給分）までとなります。18歳を迎えたお子様がいらっしゃる場合は、健康保険の扶養を外す予定が無くても、5月給与からは家族手当の支給対象から外れます。よって、改めて申請書の提出が必要となりますので、mhr 管理センター人事総務課までご連絡下さい。

### 《公共交通機関料金改定について》

JRの料金改定が3月から行われます。mhrでは1月に半年分の公共交通機関定期料金の支給を行っている為、3～6月の差額に関する支給はありません。しかし、**私鉄バス会社等の運賃改定が実施される場合、購入済定期券と改訂後の差額運賃分がICカードから自動徴収される場合**があります。その場合は規程に基づき（通勤手当の実費支給）差額を支給いたしますので、該当される従業員の方は下記までご連絡下さい。

【購入済定期券と改訂後の差額運賃分がICカードから自動徴収される従業員の方】

- ・ mhr 社員番号、氏名
- ・ 該当する公共交通機関名
- ・ 運賃改定開始日

上記を石塚、杉山宛にメールでお知らせ下さい。

【申請期日】：運賃改定開始日より1か月以内

**（差額分の支給につきましては給与支給時に通勤費に上乗せして支給いたします。差額分支給月は申請時のタイミングにより変動いたしますので、ご留意願います）**

【お問合せ連絡先】：mhr 管理センター 人事総務課 0463-73-7559

【石塚】：[yoshinori.ishizuka@m-hr.co.jp](mailto:yoshinori.ishizuka@m-hr.co.jp)

【杉山】：[megumi.sugiyama@m-hr.co.jp](mailto:megumi.sugiyama@m-hr.co.jp)

## ～加藤社長のメッセージ～



会社は、mhrは何のためにあるのか？ などよく考えます。

ヒトには、協力して行動し自然と階層をつくる傾向があるので、個人ではできない目標を実現するために、歴史の中で「会社」というくみことができました。

では、会社の存在意義は？

社会貢献？ 顧客貢献？ 株主貢献？ 社員貢献？ 他には？ 社会貢献と言えばカッコいいし、株主貢献と言えば経済合理性がありそうです。正解は1つではありませんが、どう考えるかで会社の性格は変わります。

AI情報によれば... 現代の正解は「ステークホルダー資本主義」で、「顧客・社員・株主・社会・環境の調和を図ることが最適解」とされていて、実務的合理的な優先順位は、顧客→社員→社会/環境→株主 だそうです。

そうかなあ... 順位ではなくバランスが重要で、不足している項目の優先度を高めて継続的に調整するのでしょうか。

mhrは社員さんの自己実現（収入を得る、成長する、充実感を得る...）の現場でありたい。

そのレベルを継続的に高め好循環を描ける会社でありたい。その活動に必要なリソース（利益）は顧客からいただくので、顧客貢献と社員貢献の方向性が近づくように会社と組織の運営を続けたい。その状況や課題を社員さんに共有し続け、理解いただきたい。そんな「One-Team」な会社でありたい。と、いつもいつも思っています。



## おすすめ映画



タイトル：ヘラクレス(1997年公開)

投稿者：西日本センター 川村真名美

ジャンル：ディズニー

特におすすめしたい人：子供から大人まで

どんな時におすすめ？：落ち込んでいるときや、うまくいかないことがあるとき



古代ギリシャ、オリンポスの神ゼウスとヘラの間生まれた息子ヘラクレスは、死神ハデスのたくらみで神としての力を奪われてしまい人間界で貧しい老夫婦に育てられます。

どこか自分に自信が持てなかったヘラクレスが、自分のルーツを探しながら本当の英雄になるための冒険を描いた物語です。

好きなディズニー映画は？と聞かれて「ヘラクレス」と答える人はすごく少ないかと思います。

その背景として、公開時期が超話題作だったジブリ作品の「もののけ姫」とかぶってしまい、

日本では話題になりにくかったということが言われています。

ストーリーも音楽も本当に素晴らしい作品なので、機会があればぜひご鑑賞ください！

